# 着mono通信

yoroduya

2023・9　vol.60

**原町本店**
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL：0244-24-2929

**いわき店**
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ﾋﾞﾙ1F
TEL：0246-85-5298

　みなさまこんにちは！！8月が終わり、9月は単衣の季節ですが…まだ夏物を着たい気がします。
さて、そんな暑さが和らぐ間もない9月7日（木）～9月9日（土）まで、南相馬市民文化会館ゆめはっとにおいて、毎年恒例の「秋のきもの　総力祭」を開催いたします。今年も、普段店頭では見られない商品の数々と貴重な逸品が勢揃いします。そして、女将が自ら日本橋の老舗呉服問屋に足を運び、ひとつひとつ選んできた、女将こだわりのセレクト商品も多数ご用意いたしました。そして、今回は京都西陣のお召メーカーで、お洒落でモダンな商品で定評がある「秦流舎」の商品をご用意いたしました。伝統の職人技を今に生かした西陣唯一のメゾンであります。ひとつ上のコーディネートを楽しみたいお客様におススメのメーカーです。
そのほかにも、全国各地の産地より集めた選りすぐりの紬や、老舗機屋の帯特集など、着物好きな方ならワクワクドキドキする商品ばかりです！また、合わせてフォーマル着物やあでやかな振袖なども総力祭ならではのラインナップで揃えさせていただきました。和装小物は、京都の老舗メーカー「衿秀」の商品でコーディネートを楽しみましょう！ぜひ、みなさまのご来場心よりお待ち申し上げます。着物について大いに語らい、楽しみましょう！！

## ＜浴衣納涼パーティー　開催しました＞

　7月22日に原町本店主催で4年ぶりに「浴衣で納涼パーティー」を開催しました。
18名のお客様がそれぞれの浴衣姿で夏の夜を楽しみました。美味しいお食事と楽しいおしゃべりで盛り上がりました！

今回は、原町区旭町にある「美酒彩菜　響」で開催しました。お食事がどれもこれも大変美味しくて大満足！！スタッフの皆さんも浴衣姿で対応してくださって、店内は浴衣だらけでした（笑）
初めましてのお客様も、浴衣や着物の話題で盛り上がり、楽しいおしゃべりに花が咲きました。

　毎回恒例のビンゴゲーム大会も、もちろん大盛り上がりでした。夏祭りや花火大会の浴衣姿はもちろんですが、食事会に気軽に着て行ける大人な浴衣の着こなしをたくさん見られてうれしかったです！本当に楽しい一日でした！！

　今年は当店でお誂えしてくださったお客様が多くいらっしゃって下さいました。そして、帯の結び方がそれぞれに違うもので大変興味深く拝見させていただきました。同じように見えても微妙に違うのも半巾帯の楽しさですね。やはり、お誂えの浴衣は大変着やすいとの声も多数あり、来年は新しくお誂えしたい！
とおっしゃるお客様もいらっしゃいました。
来年も必ず開催しますね～！！

# ＜　にっぽんの色と文様～その9　長月編～　＞

日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

## 暦の上では秋真っ盛り

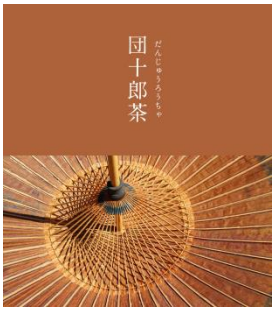
色と文様で秋を感じましょう！

**葡萄色（えびいろ）**
古くから高貴な色とされてきた濃い紫色です。古来、ブドウは「葡萄（えび）」と呼ばれており、この色は「葡萄葛（えびかずら）」と呼ばれていた山ブドウに由来します。秋とともに深まる山ブドウの豊潤な色合いが表現されています。

**菊文**　菊は、平安時代から奈良時代に中国を経て、薬草として日本に伝えられた植物です。五節句のひとつ、重陽の節句には、菊花酒を飲み、菊湯に入り、菊枕を作る風習が知られ、延命長寿、不老不死の願いを託すことができることから多種多様な文様があります。

**月文**　月を描いた文様で、満ち欠けを繰り返すことから、信仰の対象にもされました。月が文様に取り入れられるようになったのは平安時代からで、日本人にとって月は親しみやすく、美しいものであったことから浮世絵の中でも多く描かれています。

**団十郎茶（だんじゅうろうちゃ）**
赤みがかった穏やかな茶色からは、粋な雰囲気が感じられます。江戸時代の歌舞伎役者、市川団十郎が好んで身につけた色です。市川家伝統の演目「暫（しばらく）」では、代々の団十郎がこの色を用いてきました。歌舞伎文化に育まれた伝統色です。



**薄文**　すすきは秋の七草の一つで、蒔絵や陶器などにも多くみられます。江戸時代には浴衣の文様としても多く使われてきました。夏から秋にかけての衣裳には欠かすことのできない文様です。

## ＜きもの語　辞典＞　おの巻

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で？？に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

**＜黄変（おうへん）＞**古着や長期保管していた着物におこる生地の変色のトラブルの一つ。汗ジミなどをケアせずに仕舞い込んでいると、シミの色が濃くなり黄変ジミに。手当としては「黄変直し」のシミ抜きは、呉服店や悉皆屋などプロに相談してください。

**＜衽（おくみ）＞**着物の部分の名称。前身頃に付けた半分の幅の布のこと。茶道など、正座時間が多いなら、衽幅を少し広めに仕立てると裾が乱れにくいです。

**＜おはしょり＞**女性が着物を着た時の部分名称。着物の丈が長い分を腰紐でたくし上げて着付けますが、そのたくし上げた部分のことです。

**＜帯付き（おびつき）＞**羽織姿に対して、着物に帯だけの姿を「帯付き」といいます。帯をさらして出かけるのは玄人の女性に多く、夏でも何か羽織って帯を隠して出かけるのがマナーとされています。

今月のおススメ！

正絹
＜ちりめん無地帯揚げ＞
6,800円（税込）

今月のおススメ商品は、正絹ちりめん無地帯揚げです。ちりめんの無地の帯揚げは使い勝手が良くて、何枚も欲しいアイテムの一つです。ちりめんの無地の帯揚げは、ふわっと綺麗に結べて形が整う、どんな着物や帯でも合わせやすい、など大変重宝します。ところが年々、無地の帯揚げを作るメーカーさんが減ってしまいました。価格も高騰するばかりで、手軽に手に入れられるはずだったちりめんの帯揚げをなかなか仕入れられない状況でした。そんな中、今回取引先のメーカーさんが、新色を染め出して下さいました！色は全部で9色。どれも今年流行りのくすみカラーで仕上げています。追加で10色の染め出しもお願いしてあります。秋の装いに、新しいカラーでいつものコーディネートをワンランクアップさせましょう！

・・・女将のつぶやき・・・・

G.Wにお休みをいただいてから、お盆まで本当に休むことなく駆け抜けました。女将業はもちろん、ピアノのレッスン、伴奏のお仕事、合唱指導、司会業、舞台の仕事など我ながらよく働いたなと思っております。日本一副業の多い呉服屋の女将ではと自負しております。さて、夏のお仕事の一つ、南相馬市の北泉海岸で行われた「サマーフェスタ2023in北泉」の司会を、当店のスタッフ裕美ちゃんと一日浴衣姿で頑張りました！とても暑い一日で、汗だくでしたが熱中症にもならず何とか乗り越えました。2人そろって今年誂えた浴衣の出番があって良かったです。たくさんの人が夏のイベントを楽しんでくださって何よりでした！私たちも食べまくって楽しみました（笑）